

# 開発事業の流れ

# 研修制度

北海道開発局では、大きく事務系・技術系の2つの職種が一体的に仕事を行っており、河川、道路、港湾、空港、漁港、農業等様々な事業を推進しています。

ここでは、仕事の流れとその内容をご紹介します。



凡例  
 事務系  
 技術系

**1 企画**  
 北海道の資源・特性を活かした地域の活力ある発展を目的とする「北海道総合開発計画」に基づき、事業の方針・計画を策定します。

**2 調査計画**  
 事業を実施するために、必要な現状調査や経済効果、環境への影響などの各種調査を行います。

**3 用地取得**  
 事業に必要な土地の取得のため、地権者の方々と交渉し土地を確保します。

**4 設計積算**  
 工事を行う前に、現地で測量を行い、現場条件や経済性などを考慮して設計を行い、設計を基に工事予定価格を算出します。

**5 契約**  
 河川やダム、道路の建設などの工事発注や物品・役務の調達に関する契約を行います。

**6 工事監督・検査**  
 適切な品質や出来型が確保されているか、現場での検査や監督を行います。

**7 維持管理**  
 国が管理する河川やダム、道路などの施設について、施設の機能を保持し、安全に利用できるように、点検や補修を行います。

## 事務と技術の チームワーク



## 研修概要

新規採用となった方を対象とする「新規採用者研修」をはじめ、役職に応じた研修、専門的な知識・技術を修得するための専門研修など様々な研修を実施しています。

このほか、開発局以外の国土交通省内の研修施設が実施する研修や農林水産省など他省庁が実施する研修を受講することも出来ます。



北海道開発局 研修センター

## 北海道開発局で実施する主な研修

	係員・主任級	係長級	課長補佐級 etc
共通	新規採用者研修 初級研修（2年目） 中堅職員研修（5年目）	新任係長級研修	
事務	地域づくり・パートナーシップ研修 コーチング研修	環境保全研修 i-Construction 研修 防災業務研修 TEC-FORCE 研修 など	工事等契約事務研修
技術	河川	河川計画・危機管理研修 など	砂防・土砂災害緊急調査研修 など
	道路	道路技術実践研修 など	道路技術専門研修 など
	港湾	港湾計画実務研修 など	港湾事業監理研修
	農業	農業水利計画研修 など	
	営繕	営繕技術研修 など	
	電気	電気通信技術研修	
	機械	機械技術研修	

## 育成担当

行政部門については、育成担当者が選ばれ、日々の業務を通して適切に指導をします。また、全道をとりまとめる本局の各分野で高度な懸案事項等に取り組む先輩職員との交流や、事務所で現場の見学や実務の体験をするOJTなど、いつもとは違った環境で開発局における様々な仕事を学ぶことができる機会を設けています。

